



1941年に創業した銅合金鑄鍛造メーカー。自動車や鉄鋼産業向けに溶接電極を手がけるほか、国際通信を支える光海底ケーブルや航空機など決して失敗が許されない分野に高品位な素材を供給する。

# 新社長

尽に駆け回りたい。嘗て大切にしており花王、野を支えてきた。業が動きやすい土壌作 大学時代の絆は今も公約30億円。今後3カ年で3割増となる40億円

大学院では化学を専攻。花王で柔軟剤など他の開発に夜昼問わず打ち込んだ。日本経済が不況に喘いだ99年、30歳を機に

「ずっと続いている家業の」

## 航空機向け素材拡大

し積極的に技術をP R。ここ数年中国などで受注実績を積んだ。昨年には航空関連の品質規格で欧米でも通じるJIS Q9100を取得。「今年に入り欧州大手の航空機で、新造機の素材として採用された」と

笑顔を見せ「休日時間ができたらまた海に出たい」という。

## 大和合金 萩野 源次郎氏

1941年に創業した銅合金鑄鍛造メーカー。自動車や鉄鋼産業向けに溶接電極を手がけるほか、国際通信を支える光海底ケーブルや航空機など決して失敗が許されない分野に高品位な素材を供給する。

「ずっと続いている家業の」

量、高難度のニーズにしながら、今後は航空機向けの出荷を増や

ミ青銅の素材が中心だが、今後は摺動性や耐摩耗性に優れる黄銅系の合金を供給する。さらなる新合金での新規顧客の開拓も視野に入

3代目の萩野源次郎社長は先代の茂雄氏の次男。今年に入りバトンを受けた。「銅合金を世界に提供し社会貢献することが当社の使命。そのために縦横無

の思いで転身。大和合金に入社した。研究者時代から培ってきたハドワーカーぶりは今も健在。社員からは「いつ寝ているのか」と不思議がる声も。人た技術はF1カーや新エネルギーなど先端分野とのつながりを何より

顧客の開拓も視野に入れている。航空機分野で主力の円筒形の素材を足回り材として扱

(古瀬 唯)

**略歴**  
 萩野 源次郎氏 (はぎの・げんじろう) 94年上智大学大学院理工学研究科修士、花王入社ハウスホールド研究所、99年大和合金入社、10年宇都宮大学大学院博士後期課程修了、13年社長。

